



## 喜び、驚きの感動を自然から ココロが育つベース基地

五感を使い 生きる力を育てる場所  
自然遊びの伝道師

大浜 崇さん(三郷)



黒沢洞合自然公園周辺を主な活動拠点に子どもたちの野外活動・環境教育を行っている大浜さん。活動を始めたきっかけや子どもたちへの思いを聞きました。

**森で遊び自然を学ぶ環境づくり**

新月の夜、手元の明かりを消すと暗闇が自分を包み込みました。日本で今まで感じたことがなかった暗闇を目の当たりにして、「街中からほんの少しだけ離れているだけで、こんな素敵な所があるんだ」と感じた場所こそ、黒沢洞合(現在の黒沢自然公園)でした。

インドやアフリカなど世界各国を旅し、ポリビアでは現地の日本人学校に勤務。帰国後、児童館や児童養護施設に勤務したのち平成17年に友人の招きで訪れた信州安曇野の黒沢洞合の自然に魅了され、三郷小倉に移住を決意しました。

移住当時、保育園児だった我が子と黒沢洞合での自然遊びに夢中になりました。それまで見たことなかったトンボの羽化や多種多様な動植物との出会い、黒沢川での川遊びなど、自

然体験で得られる感動を重ねるうちに、「地域の子も達にもこの体験をしてもらいたい」と思うようになり、平成20年に「どあい冒険くらぶ」を設立しました。

どあい冒険くらぶは、1年を通して定期的な野外活動を行っています。遊具もない自然の中で、日常の延長のような野遊びです。特別な道具は何もありません。ただ、環境があり、仲間がいます。四季の移ろいを実感しながら仲間と共に新しいことに挑戦し、自ら考え工夫して遊ぶための環境を作り、サポートしています。

**拠り所「心のベース基地」**

子どもの時に自然の尊さ、仲間との成功体験を重ねることは人生のかけがえのない財産になります。かつて年長者に憧れ、たくさんのことを学んだ子が、いつしか憧れられ、教える立場になります。中学校、高校生になっても参加しスタッフになってくれたり、昔、どあい冒険くらぶを利用していた子から何年かたって「浜ちゃん、遊びに行ってもいい?」と言われると、この場所が拠り所の二つになっていることに胸が熱くなります。このくらぶが子どもたちがいくつになっても遊びに来られる「心のベース基地」になれば良いと思っています。



埼玉県出身。大学卒業後、体操・野外教室へ勤務した後、南米ポリビアの日本人学校での勤務や、インド、ネパール、アメリカ、アフリカ、ヨーロッパ等世界各国を旅し、帰国後、児童館や児童養護施設に勤務。平成17年に安曇野三郷小倉に移住。平成20年どあい冒険くらぶ設立。



HP

**MEMO**..夏の活動内容  
○爽りの陣 秘境探検や自然観察、川遊びなど  
8月27日(日)・9月2日(土)  
○対象  
小学生(中学生以上もボランティア参加可)  
○料金・持ち物  
ホームページ参照

### 育つ公園「黒沢洞合自然公園」へ

平成19年、当時の三郷中学校の生徒が整備したロマン溢れる黒沢洞合自然公園。現在、公園拡張整備計画が進められています。完成された公園を整備するのではなく、誰でも気軽に触れ合える開かれたフィールドでさまざまな体験ができ、利用者が遊び親しみながら、市民の手で育つ公園になればと願っています。

全国から多くのご協力ありがとうございました!

一緒につくろう・まもろう 北アルプスパノラマ銀座100年プロジェクト

## いよいよ使用開始! 燕岳テント場トイレ



安曇野市の大自然が大好きです。いつまでも綺麗な環境が続くことを願っています

大切な自然環境を守りたいです

燕岳は大好きな山です。燕岳の環境保護のため、応援しています

問観光課 Tel. 71-2055

### 北アルプスファンと一緒に

多くの登山ファンから愛されている北アルプスパノラマ銀座。このエリアは行政と山小屋関係者が協力して整備を行っています。しかし、近年の輸送コストの増大や新型コロナウイルスの影響による山小屋の受け入れ可能人数の減少で山小屋の負担が増えています。これにより、登山道整備や環境整備、遭難対策などの公的役割に影響を与えかねない状況となっています。

このような状況の中、市で所有する山岳トイレのうち最も標高の高い場所にある燕岳テント場トイレは、平成6年に建築され、その過酷な環境による老朽化や環境負荷の解消が課題となっていました。そこで、トイレの改築費



1階に設置したカートリッジ(キャスター付)



環境保全のための料金箱を設置

固液分離式便器

市では、皆さんからご協力いただいたこのトイレを長く大切に維持し、引き続き山小屋関係者などと協力しながら北アルプスパノラマ銀座の環境の保全や整備に取り組んでいきます。

電気などがない山岳環境に優しい方式となっています。7月中旬から使用できるようになり、秋までに土留めなどの外構工事を行う予定です。事業費は、CF寄付金、自然環境整備事業支援補助金を含め、7462万4000円です。

新築トイレは、男女別で床面積25.82平方メートルの木造2階建て。固液分離式の便器を採用し、便はカートリッジにためてヘリコプターで運び出し、尿は浄化槽でろ過します。また、電力はソーラーを利用します。これは、上下水道、電気などがない山岳環境に優しい方式となっています。7月中旬から使用できるようになり、秋までに土留めなどの外構工事を行う予定です。事業費は、CF寄付金、自然環境整備事業支援補助金を含め、7462万4000円です。

用に充てるためクラウドファンディングで全国の北アルプスファンに寄付を呼びかける「一緒につくろう・まもろう 北アルプスパノラマ銀座100年プロジェクト」を令和3年6月から行いました。90日間の期間中、全国の539人から目標額の500万円を大きく上回る708万9000円の寄付が集まり、令和3年夏から改築工事に着手し、令和4年11月に完成しました。

### 山岳環境に優しいトイレ